

内容	大多喜町には、なぜ産婦人科がないのでしょうか。 少子化対策について、大多喜町は今後どうしていくのでしょうか。 大多喜町電子地域通貨のプレミアムポイント付与を復活しないのでしょうか。
回答	はじめに、産婦人科医については、都市部への集中が進み、産婦人科医不足の地域が増加し、本町にも産婦人科医がいない状況です。 本町に住む人たちの命を守るためには、産婦人科医に限らず、他の多くの診療科が欲しいところであります。 本町といすみ市、御宿町の 1 市 2 町で設置している国保国吉病院では、既存の診療科の医師の確保にも苦慮しており、本町だけで病院や医院の開設をしたり、医療法人を誘致したりすることは、大変難しい状況であるということをご理解いただきたいと思います。 このような中、本町では、産婦人科医で検診する妊婦の方やご家族の方の不安を少しでも解消するために、検診時等のタクシー料金の助成や各種相談業務を実施していますので、お困りのことがありましたらお気軽にお問合せください。 次に少子化対策につきましては、本町のみならず全国の地方自治体が直面する喫緊の課題となっています。 本町においても、町の最上位計画である第 3 次総合計画・後期基本計画に少子化対策も含めた人口減少対策を位置づけ施策を展開しているところです。 少子化対策については、様々な方向から施策を展開することが効果的であり、「結婚・出産・子育て支援」としては、結婚促進のための出会いの場の提供、結婚新生活支援や不妊治療費助成、出産祝金制度、また、特

色ある保育の実施、給食費の無償化など、「教育」では、保育園から高校まで各学校と連携した英語教育の学びの連続性の確保、ICT 環境の整備充実など魅力ある教育環境の整備、「住宅政策」及び「移住促進」として、住宅・宅地取得に関する補助制度などの支援、空家対策を含めた移住促進など、少子化問題を総合的に捉えて各施策に取り組んでいます。

今後もこれらの取り組みを通じ、少子化問題を含め「住んでよし、訪れてよしのまちづくり」の実現に向けて取り組んでまいります。

最後に、大多喜町電子地域通貨のプレミアムポイント付与でございますが、令和 5 年度についてもプレミアム率 10%のキャンペーンを 4 月 3 日から実施しております。多くの方に使っていただけることで地域経済の活性化に繋がると考えておりますので、引き続きご利用いただけますと幸いです。